

## J S Q C 規格の開発・制定に関する提案書

規格の名称	日常管理の指針
規格の種類	○ 1. 規格 (JSQC-Std)      2. テクニカルレポート (JSQC-TR)
規格の適用範囲	総合的品質管理 (TQM) の一貫として、組織において行うことが推奨される 日常管理の方法
規格の利用者	TQMを実践する組織、およびTQMを評価・診断する組織
制定のねらい	<p>TQMの主要な活動要素のうち、方針管理については、既に、「JIS Q 9023:2003 品質マネジメントシステムのパフォーマンス改善—方針の策定、展開及び運営管理の指針」が制定されている。また、品質改善については、「JIS Q 9024:2003 マネジメントシステムのパフォーマンス改善—継続的改善の手順及び技法の指針」が制定されている。</p> <p>しかし、これらと対をなす「日常管理」については、その重要性にもかかわらず、広く活用できる規格がISOやJISとして制定されていない。このために、「日常管理」とは何か、どう実践するのがよいかについては、組織ごと、研究者ごとに異なっており、製品・サービスの取引や品質マネジメントシステムの構築・評価・診断において、様々な誤解を生じる一つの原因となっている。</p> <p>本規格は、日常管理に関わる重要な概念および方法に関して、学会として統一的な見解を示し、TQMのさらなる普及・発展のための基盤を提供することを目的とする。</p>
制定によって期待される効果	<p>(1) 日常管理に関する概念および方法がわかりやすいものとなり、TQMの普及が容易になる。</p> <p>(2) 従来にない分野・問題へTQMを適用する上で必要となる新たな方法論の研究・議論を行うための基盤を構築できる。</p>
制定によって影響を受けると思われる組織・人	<p>(1) TQMを実践している組織</p> <p>(2) TQMの評価・診断を行っている組織</p> <p>(3) ISO 9000シリーズの制定、それを用いた認証制度を運用・活用している組織</p>
制定までのおおよそのスケジュール	<p>(1) 2012年10月末      作業原案の作成</p> <p>(2) 2012年11月～2013年1月      審議委員会による審議とパブリックコメントの募集</p> <p>(3) 2013年2月      規格の発行</p>
原案作成に当たって参考となる資料	<p>(1) 久保田洋志、「日常管理の基本と実践—日常やるべきことをきっちり実施する」(JSQC選書)、日本規格協会、2008</p> <p>(2) 中條武志・山田秀・日本品質管理学会標準委員会編、「TQMの基本」、日科技連出版社、2006</p> <p>(3) 狩野紀昭、「日常管理の徹底」、品質月間委員会、1983</p> <p>(4) Yukihiro Ando and Pankaj Kumar, Daily Management The TQM Way – A Key to Success in Tata Steel, 2011</p>
提案委員会・研究会・部会名	日本品質管理学会 標準委員会